

これまでに大腿骨近位部骨折の治療を受けた患者さんへ 【治療データの調査研究への使用のお願い】

日本整形外科学会では「全国調査による高齢者骨折の治療実態と予防に関する研究」という調査研究を行う予定です。この研究は、【大腿骨近位部骨折および非定型大腿骨骨折の性、年齢別発生率】を調べることを主な目的としています。そのため、今後大腿骨近位部骨折・非定型大腿骨骨折の治療を受けた患者様のカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- 今回の調査研究は、2018年1月1日から2025年12月31日までに治療を受けた患者さんのカルテが対象です。
- カルテを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びにリスクはありません。また、患者さんへの直接的な利益もありませんが、研究の成果は、将来の大腿骨近位部骨折の予防と治療の指針策定に寄与します。なお、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。データは、研究責任者（日本整形外科学会骨粗鬆症委員会）に送付され、管理、解析されます。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究で使用したデータは、当該研究の結果の最終の公表について報告された日から5年を経過した日まで保管します。保管期間終了後は、匿名化のうえ適切な方法で廃棄します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は日本整形外科学会に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、日本整形外科学会の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。
- この調査研究は聖隷浜松病院臨床研究審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究期間：2018年12月～2026年12月まで

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

研究責任者：日本整形外科学会 骨粗鬆症委員会 アドバイザー 森 諭史（聖隷浜松病院 骨粗しょう症センター）

委員会事務局 [TEL:03-3816-3671](tel:03-3816-3671)

研究責任者連絡先：聖隷浜松病院 骨粗しょう症センター 外来 [TEL:053-474-2222](tel:053-474-2222)（代表）

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。